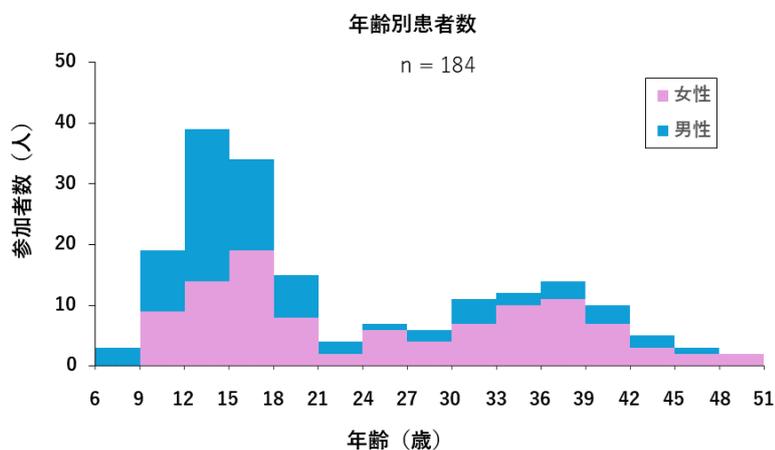


## 患者アンケート調査結果

### 患者アンケート調査 参加者の年齢分布



参加者の年齢分布は、21歳未満と21歳以上で2つのピークが見られた。

図1 患者アンケート参加者の年齢分布

### 参加者の年齢分布

	6-15歳	16歳以上
患者数(人)	68	128
男性	42 (61.8%)	47 (36.8%)
女性	26 (38.2%)	81 (63.2%)

女性の比率は、6-15歳では38.2%に対し、16歳以上では63.8%と有意に多かった。(カイ2乗検定、 $P < 0.05$ )

図2. 患者の年齢分布

## 周産期について

分娩様式	人数 (%) n = 184	参考値 *1
経膣分娩	148 (80.4)	
帝王切開	31 (16.4)	21.6%
不明	5 (2.7)	

\* 1厚生労働省「医療施設調査」(令和2年)

出生体重	人数 (%) n = 184	参考値 *2
1000g未満	3 (1.6)	0.3%
1000~1499g	2 (1.1)	
1500~2499g	29 (15.8)	9.6% (2500g未満)
2500g以上	140 (76.1)	
不明	10 (5.4)	

\* 2厚生労働省「人口動態統計(確定数)」(令和3年)

図 3. 周産期の状況

## 周産期について

妊娠中の母の喫煙	人数 (%) n = 184
あり	15 (8.2)
なし	152 (82.6)
不明	17 (9.2)

乳児期の栄養	人数 (%) n = 184
母乳のみ	61 (33.1)
母乳とミルクの混合栄養	81 (44.0)
ミルクのみ	18 (9.8)
不明	24 (13.0)

出生後の人工呼吸器の使用	人数 (%) n = 184
あり	11 (6.0)
なし	156 (84.8)
不明	17 (9.2)

図 4. 周産期の状況 2

## 乳児期の状況

1歳までの喘鳴歴	人数 (%) n = 184
あり	54 (29.3)
なし	96 (52.2)
不明	34 (18.5)

1歳までの湿疹歴	人数 (%) n = 184
あり	71 (38.6)
なし	70 (38.0)
不明	43 (23.4)

1歳までの肺炎・気管支炎 (医師の診断)	人数 (%) n = 184
あり	49 (26.6)
なし	106 (57.6)
不明	29 (15.8)

2歳までの保育利用	人数 (%) n = 184
あり	46 (25.0)
なし	115 (62.5)
不明	23 (12.5)

図 5. 乳児期の状況

## アレルギー疾患の合併 組み合わせ毎の人数

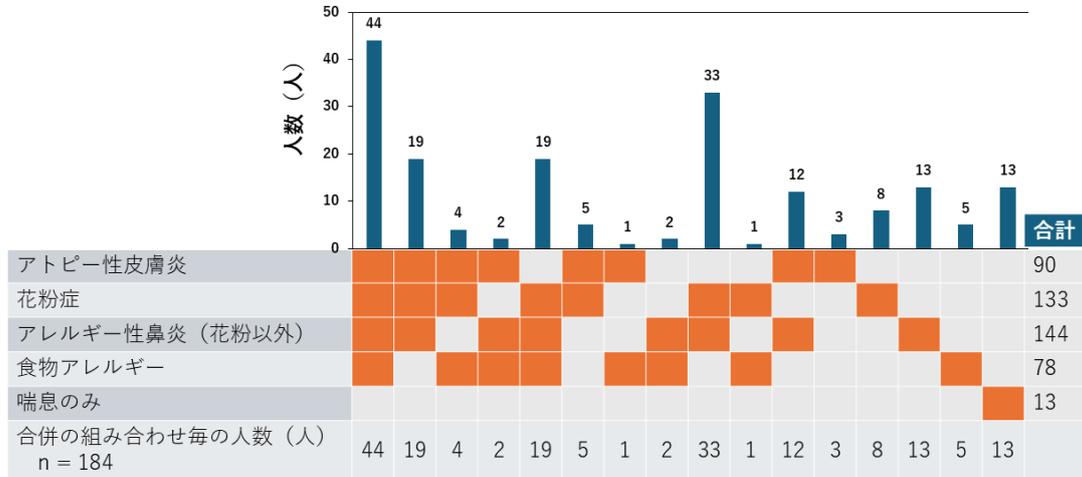


図 6. 他のアレルギー疾患の合併状況

### 発症年齢

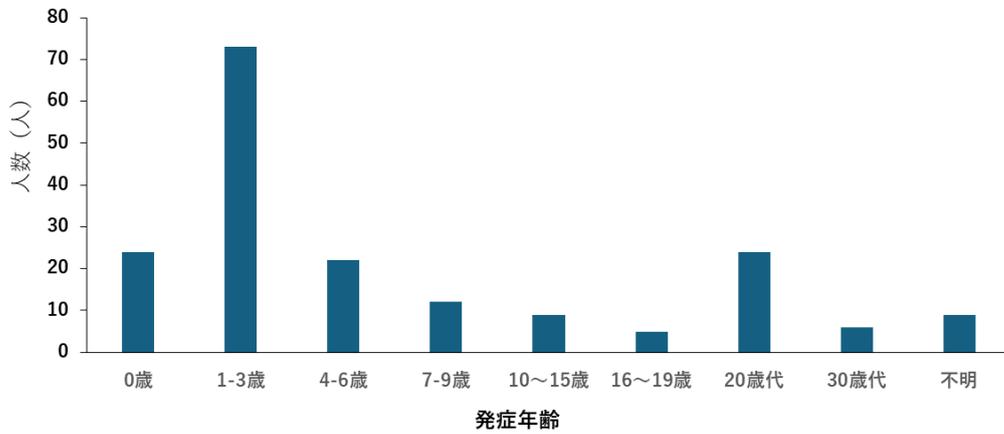


図 7. 気管支喘息の発症時期

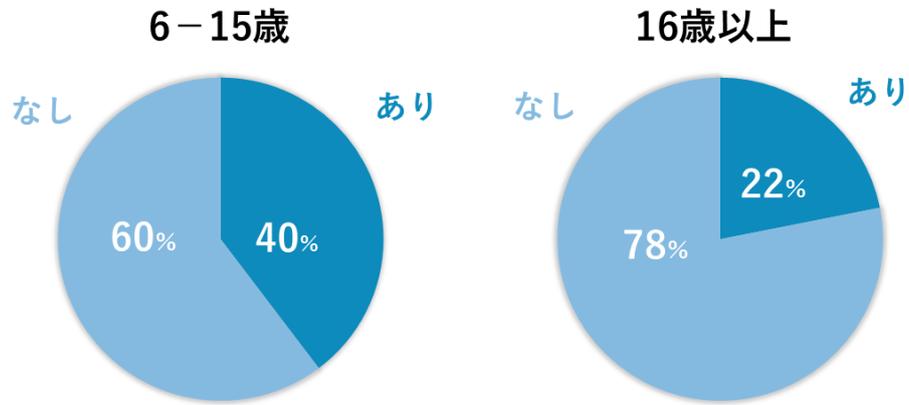
### 世帯年収

世帯年収 (円)	6-15歳 [人](%)	16歳以上 [人](%)
125万未満	6 (8.8)	12 (9.4)
125万~250万	5 (7.4)	9 (7.0)
250万~500万	14 (20.5)	21 (16.4)
500万~1000万	32 (47.1)	44 (34.4)
1000万以上	5 (7.4)	21 (16.4)
回答なし	6 (8.8)	21 (16.4)

年収1000万以上の世帯の割合は  
AYA世代で16.4%と小児7.4%に比べ多かった

図 8. 参加者の世帯収入

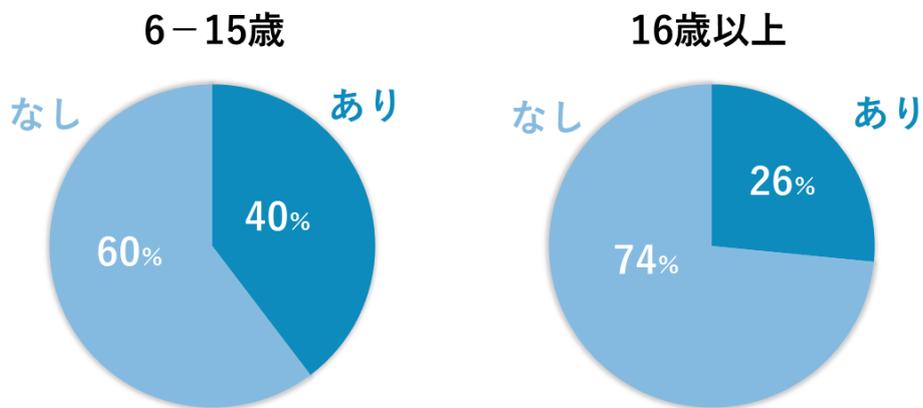
## ペットの飼育状況



世帯内のペットの飼育率は6-15歳以上で高かった。  
(カイ2乗検定、 $P < 0.05$ )

図9. ペットの飼育状況

## 習慣性喫煙者のいる世帯の割合



習慣性喫煙者のいる世帯の割合は、6-15歳の方が高かった。

図10. 習慣性喫煙者のいる世帯の割合

## 全身ステロイドを要する急性増悪の既往

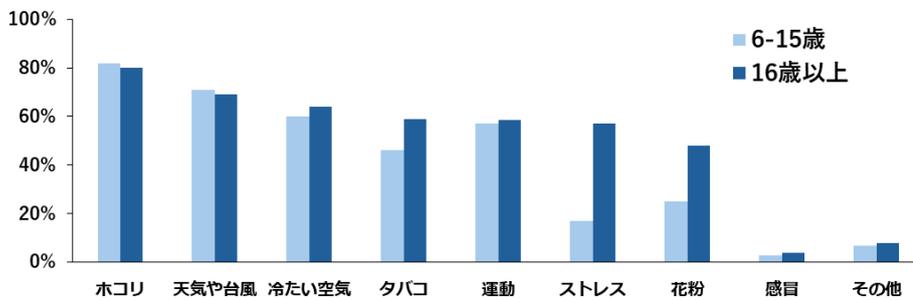
回数 (回)	6-15歳 [人] (%) n = 68	16歳以上 (人) n = 128
なし	7 (10)	12 (9)
1~3	15 (22)	16 (13)
4~6	7 (10)	12 (9)
7~9	5 (8)	13 (10)
10以上	34 (50)	75 (59)

全年齢層で5割以上の患者が、10回以上の全身ステロイドを要する急性増悪の既往があった。

図 11, 全身ステロイドを要する急性増悪の既往

## 急性増悪の契機と思われるもの

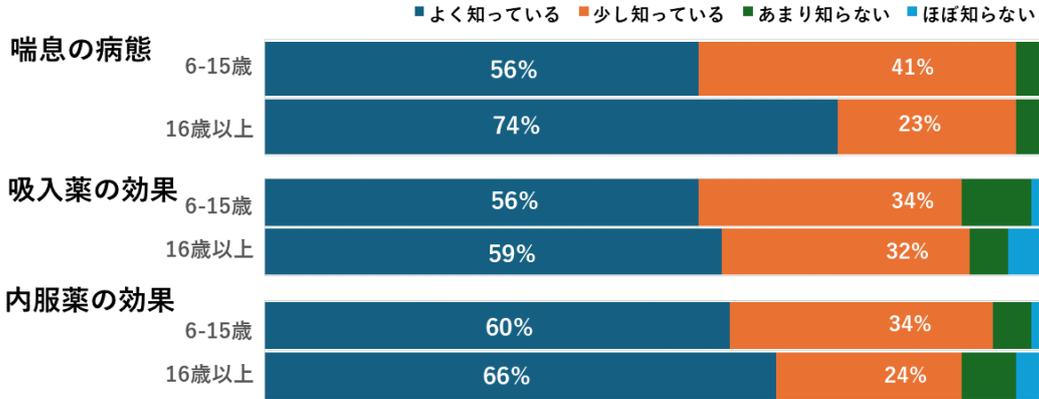
複数解答可



ホコリが最も多く、次いで天気や台風、冷たい空気、タバコが多かった。ストレスは16歳以上で有意に多かった

図 12. 急性増悪の契機

## 気管支喘息・治療薬に対する理解度



両世代で喘息の病態について16歳以上では74%がよく知っていると答えた。一方、吸入薬や内服薬の効果は、両世代ともによく知っていると答えたのは6割にとどまった。

図 13. 気管支喘息に対する理解度

## 服薬アドヒアランス 生物学的製剤開始前

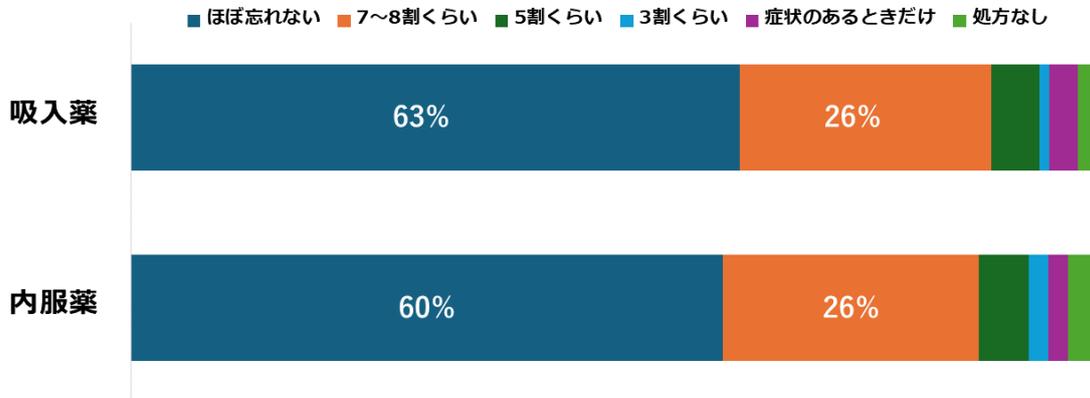


図 14. 服薬アドヒアランス

## 使用した生物学的製剤の種類

使用中・終了の製剤

使用製剤	回答数 n=256	使用中 (%) n=151	使用終了 n=105
オマリズマブ	104	58 (56%)	44
メボリズマブ	43	22 (51%)	21
デュピルマブ	86	61 (71%)	27
ベンラリズマブ	23	10 (43%)	13

使用中の製剤 (151件)

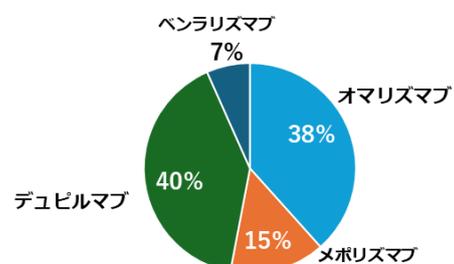


図 15. 使用した生物学的製剤の種類

## 製剤選択・変更の状況 (256件)

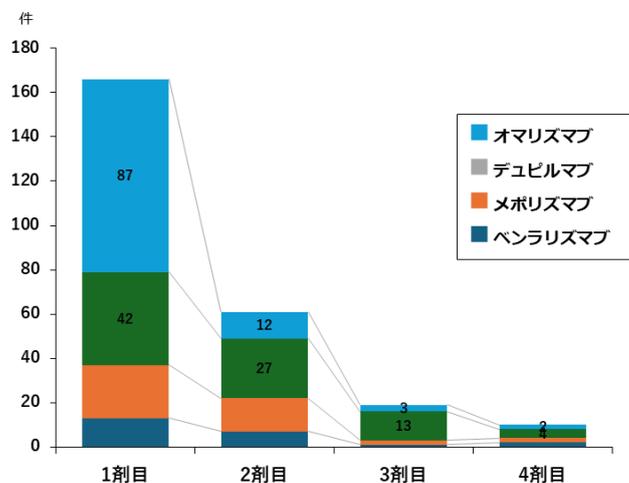


図 16. 製剤洗濯・変更の状況

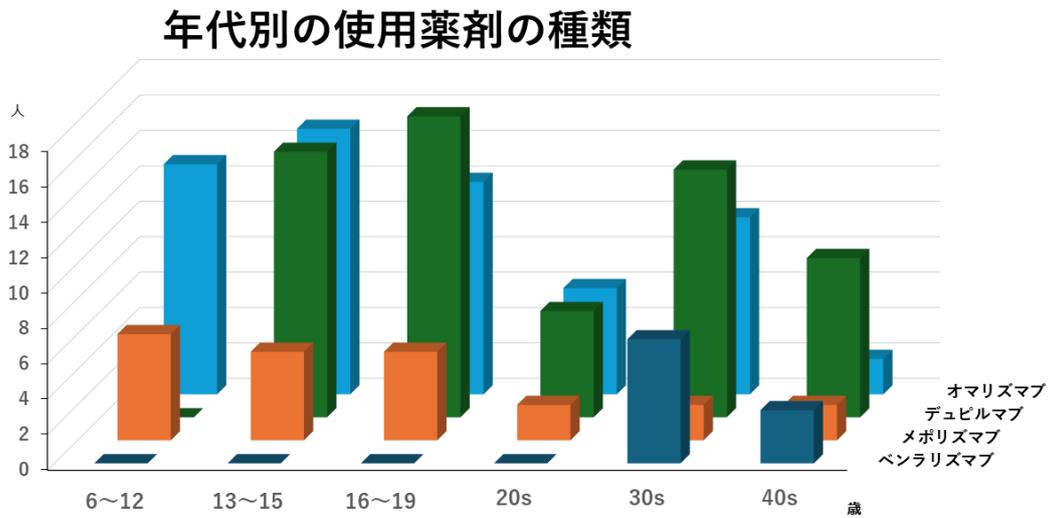


図 17. 年代別使用薬剤

### 製剤開始後の急性増悪・運動制限・発作不安の改善の経過

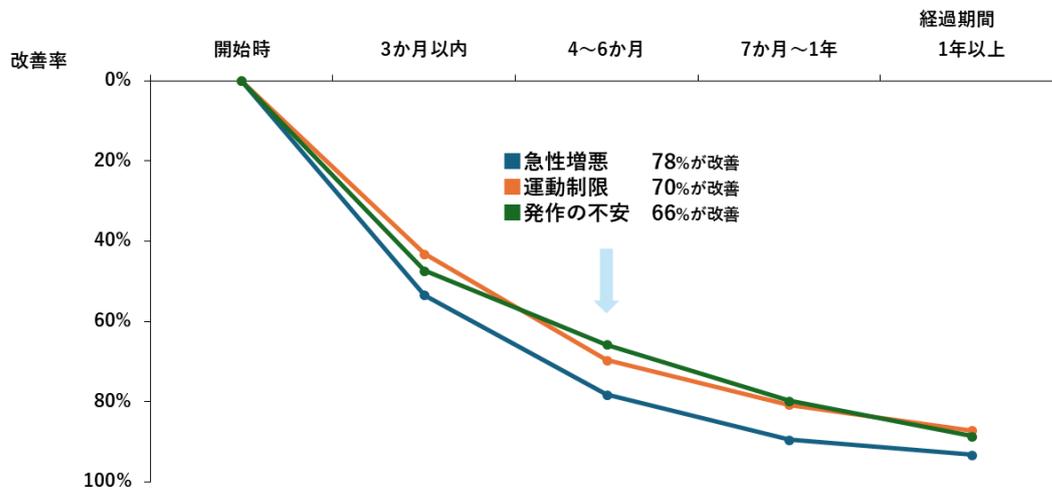


図 18. 生物学的製剤使用開始後の急性増悪、運動制限、発作不安の改善

## 生物学的製剤使用後の解答の割合 肯定的質問

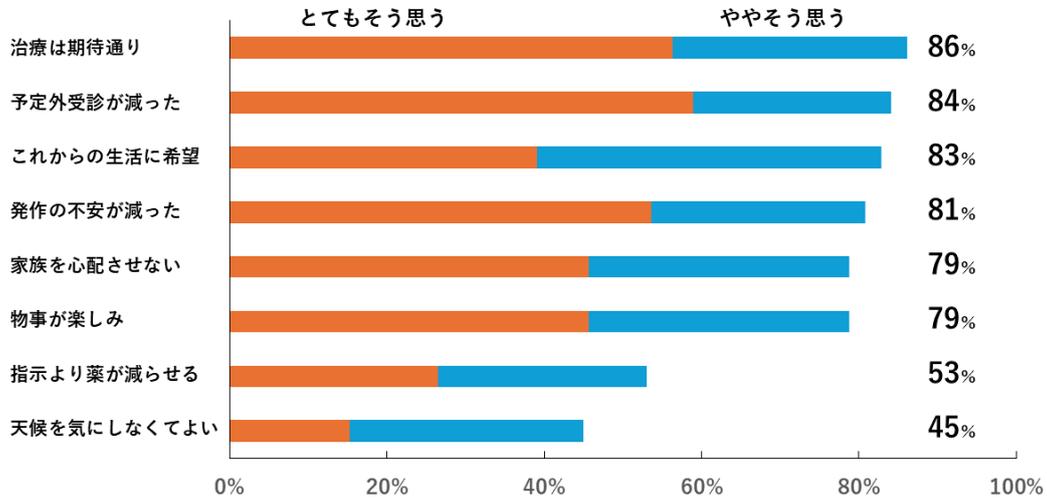


図 19. 製剤開始後の感想 1

## 生物学的製剤使用後の解答の割合 小児（18歳未満）と成人 とてもそう思う+ややそう思う

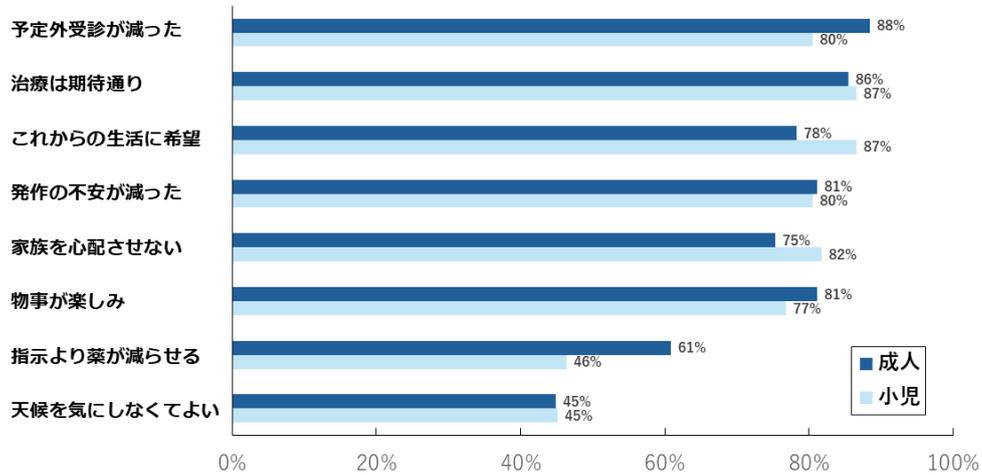


図 20. 小児と成人別製剤開始後の感想

## 生物学的製剤使用後の解答の割合 否定的質問

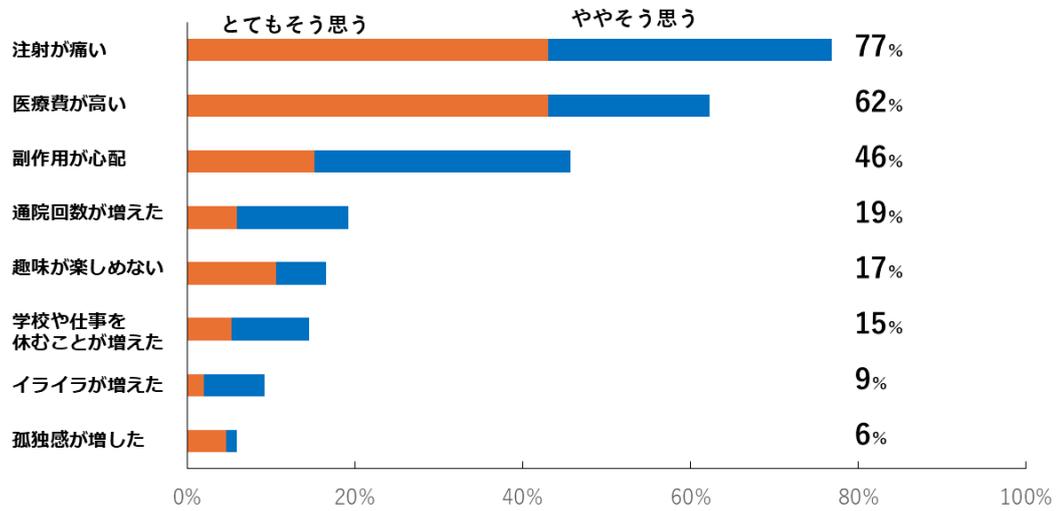


図 21. 製剤開始後の感想 2

## 生物学的製剤使用後の解答の割合 小児（18歳未満）と成人 とてもそう思う+ややそう思う

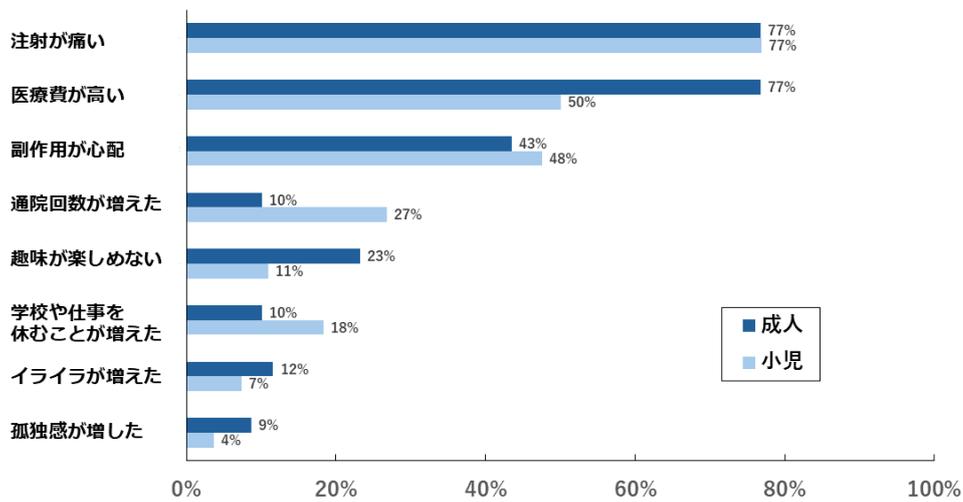


図 22. 小児と成人別製剤開始後の感想 2

## 満足度と治療継続の希望

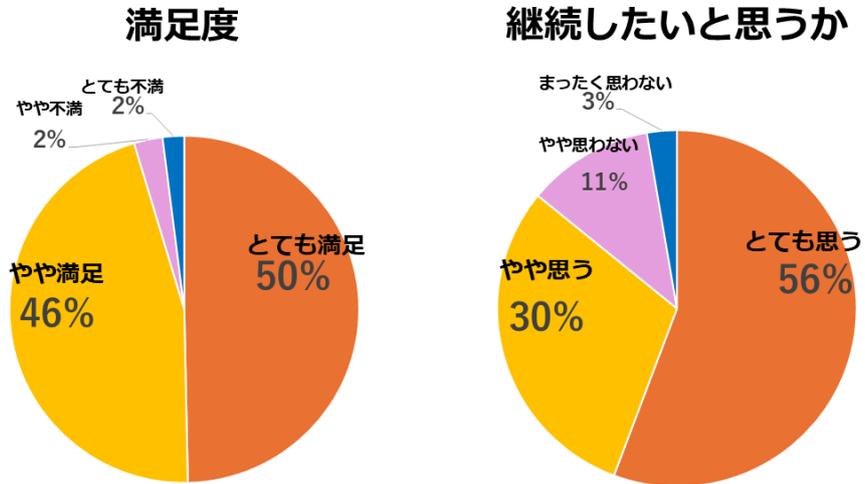


図 23. 製剤への満足度

## 継続したくない理由（自由回答）

- ・効果や改善が感じられない（7件）
- ・医療費が高い（6件）
- ・注射が痛い（3件）

以下、各1件ずつ

- ・本当に効いているのか心配
- ・以前の薬のほうがあったため戻したい
- ・何か薬（やく）やってみたいになるから
- ・毎月通うのが苦痛
- ・できるだけ早く薬を切りたい
- ・妊娠を控えなければならない
- ・今後ずっと注射に頼る生活になるのかと思うと怖い

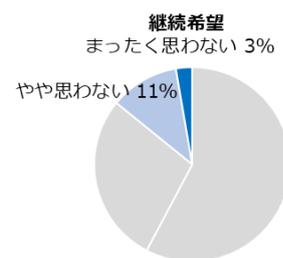


図 24. 製剤を継続したくない理由

